

## PCBを含まないと判定した廃活性炭の払出しについて

### 1 当初の廃活性炭の処理方針について

これまで、廃活性炭はPCBを含む可能性があるものとして、施設内で保管してきました。

当初は、社内処理も選択肢の一つと考えていました。

### 2 廃活性炭処理に関するこれまでの検討経過、今後の計画について

#### ○ 廃活性炭処理に関する検討経過

廃活性炭の処理については、増設事業で処理を行う計画で保管を行ってきましたが、当初予定していた操業開始時期が遅れたことから、保管場所の確保も含めて検討した結果、PCBの分析を行いPCB廃棄物の基準値以下の物について、産業廃棄物として社外処理を行うこととしました。

なお、他の4事業所におきましても、基準値以下の廃活性炭については、産業廃棄物として社外処理を行っております。

#### ○ 廃活性炭の今後の計画

基準値以下の物は、順次、産業廃棄物として払出し、処理を行っていく予定です。（年間100本程度）

また、最初に払出を行う際には、法に基づく手続き及び協定に基づく報告を行い、払出し量は円卓会議で報告いたします。

### 3 基準値以下であることの確認方法について

#### (1) サンプルング方法及び分析方法

「産業廃棄物のサンプルング方法（JIS K 0060）」により、発生源毎に管理しているロット毎に、規定された本数を抽出し、検体をサンプルングします。

分析は、溶出量試験及び含有量試験を行い各々の基準値以下であることを確認します。

#### (2) 判定方法

抽出した検体全てがいずれの試験も基準値以下の場合に、対象のロットが基準値以下であると判断します。

また、単体で分析を行った場合、基準値以下であったドラム缶についても、払出を行います。

[判定結果については、別紙1 廃活性炭分析結果のとおりです。]

#### 4 現在の廃活性炭の状況（保管場所、保管量など）について

（別紙2）

#### 5 今回の払出しの時期、量、処分方法、処分委託先について

- ・ 払出予定時期：監視円卓会議説明後に払出し手続きを開始します。
- ・ 払 出 し 量：ドラム缶54本
- ・ 処 分 方 法：焼却処分
- ・ 処 分 委 託 先：JX金属苫小牧ケミカル株式会社【予定】

## 廃活性炭分析結果

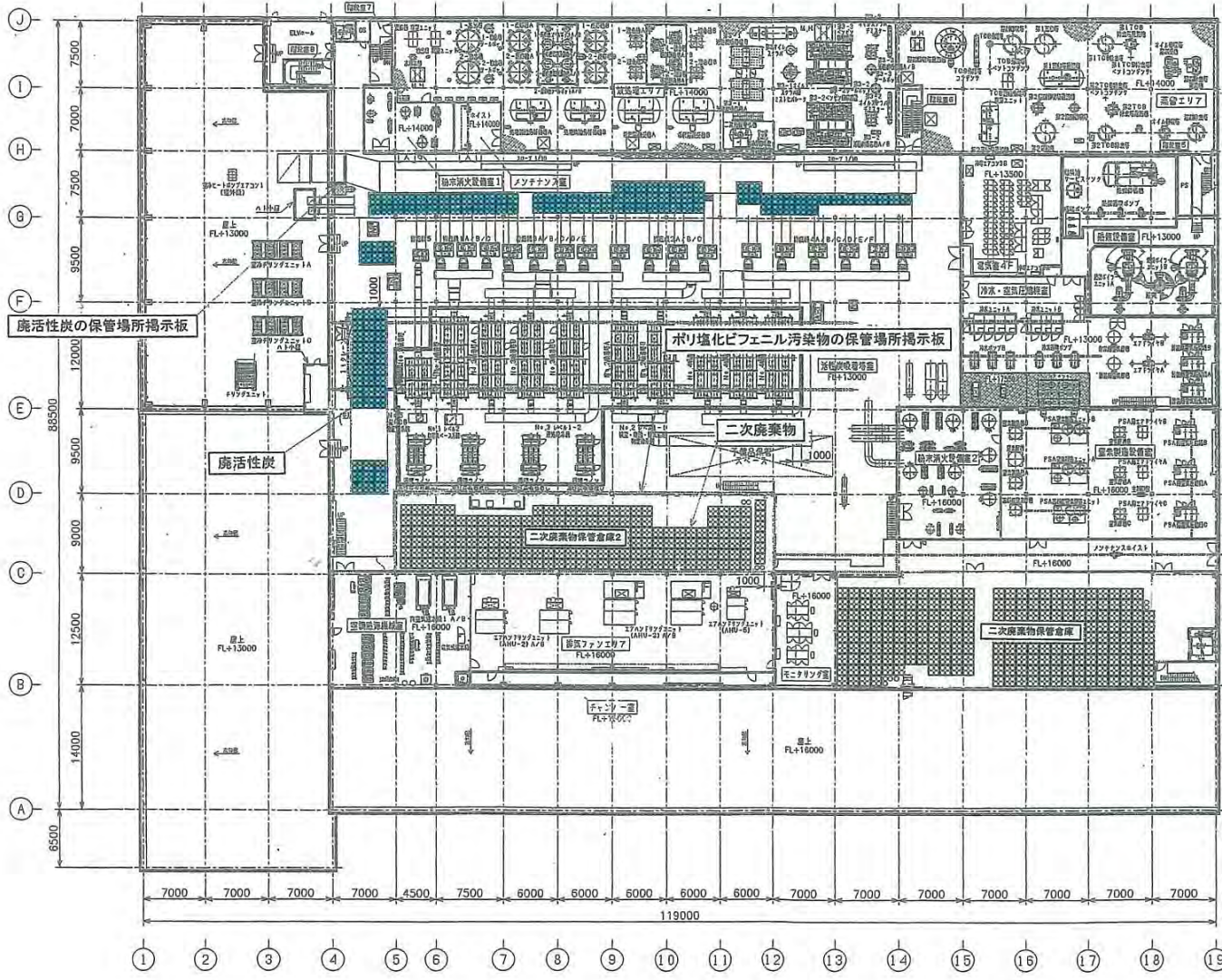
- (1) 対象活性炭 排気3-1系活性炭槽A、Bより抜出し、ドラム缶に収納したもの。(≒90kg/本)  
 (2) サンプルング JIS K0060 抜取検査 検査水準Ⅲ による。  
 (3) 卒業判定 PCB含有濃度 ソックスレー抽出試験(株式会社 カネカテクノロジー)  
 PCB溶出濃度 溶出試験(自社。クロスチェックを日鋼検査サービス株式会社で実施。)

	排気3-1系	全本数	抜取本数	サンプルNo	PCB含有濃度	PCB溶出濃度	判定結果
		ドラム缶	ドラム缶		mg/kg	mg/L	
2009年	AD-6303A	13	5	10391630-41	0.08	<0.0001	いずれも基準値以下
				10391630-42	<0.05	<0.0001	
				10391630-43	<0.05	<0.0001	
				10391630-44	<0.05	<0.0001	
				10391630-45	<0.05	<0.0001	
	AD-6303B	14	5	10391630-46	<0.05	<0.0001	いずれも基準値以下
				10391630-47	<0.05	<0.0001	
				10391630-48	0.07	<0.0001	
				10391630-49	0.13	<0.0001	
				10391630-50	0.09	<0.0001	
2010年	AD-6303A	14	5	10391630-143	<0.05	<0.0001	いずれも基準値以下
				10391630-144	<0.05	<0.0001	
				10391630-145	<0.05	<0.0001	
				10391630-146	<0.05	<0.0001	
				10391630-147	<0.05	<0.0001	
	AD-6303B	13	5	10391630-148	<0.05	<0.0001	いずれも基準値以下
				10391630-149	<0.05	<0.0001	
				10391630-150	<0.05	<0.0001	
				10391630-151	<0.05	<0.0001	
				10391630-152	<0.05	<0.0001	
	合計	54	20	基準値	0.5	0.003	

廃活性炭は系統ごとに全てドラム缶に収納し、2段～3段積みで4階活性炭吸着塔室内(1,440本保管可能)に保管している。

2011年10月末現在の保管本数は1,144本。

年度	系統	ドラム缶本数	年計	合計
2008	分析設備排気	57本	57本	349本
2009	分析設備排気	54本	349本	
	第1系統排気	76本		
	第2系統排気	52本		
	第3-1系統排気	27本		
	循環槽	105本		
2010	局所排気	35本	363本	
	分析設備排気	55本		
	第1系統排気	77本		
	第2系統排気	52本		
	第3-1系統排気	27本		
	循環槽	112本		
2011	局所排気	37本	375本	
	浄化槽活性炭・その他	3本		
	分析設備排気	56本		
	第1系統排気	78本		
	第2系統排気	53本		
	第3-1系統排気	31本		
	循環槽	115本		
局所排気	42本			



全体機器配置図 4階  
FL+13000  
GL+13450



廃活性炭保管状況

### 3 PCBの液処理量(単位：kg)

P C B量	
H20年度計	64,970
H21年度計	194,930
H23. 2月	22,022
3月	21,706
H22年度計	261,828
H23. 4月	23,085
5月	21,556
6月	19,509
7月	25,638
8月	30,765
9月	2,883
10月	33,738
11月	35,282
12月	28,152
H24. 1月	
H23年度計	220,608
処理量計	742,336

### 4 払出物の状況

(有価物)

(単位：kg)

	鉄	銅・紙	アルミ	処理済油	複雑金属
H20年度計	73,422	10,126	2,868	325,456	13,901
H21年度計	206,458	27,109	3,623	1,141,277	30,283
H23. 2月	20,954	5,730	151	118,366	4,463
3月	18,253	2,888	165	131,405	5,613
H22年度計	247,620	33,963	2,567	1,500,740	52,180
H23. 4月	18,493	2,600	1,049	133,128	3,665
5月	20,970	2,483	691	133,157	3,540
6月	16,432	1,326	880	103,572	4,735
7月	21,384	4,463	305	147,652	9,328
8月	25,501	3,086	315	157,611	8,547
9月	614	0	0	59,180	0
10月	24,561	755	832	162,747	6,721
11月	25,473	3,803	152	177,536	5,208
12月	25,619	4,626	295	147,958	6,869
H24. 1月					
H23年度計	179,047	23,142	4,519	1,222,541	48,613
払出量計	706,547	94,340	13,577	4,190,014	144,977

(廃棄物)

(単位：kg)

(ドラム缶本)

	素子	紙・木・プレスボード	廃アルカリ	廃TCB	碍子	廃活性炭
H20年度計	33,563	6,063	713,211	19,097	8,147	0
H21年度計	78,060	12,319	2,096,711	44,437	25,189	0
H23. 2月	8,661	2,004	225,742	4,238	3,830	0
3月	8,384	1,840	213,848	6,327	1,731	0
H22年度計	101,528	17,771	2,625,950	66,856	29,287	0
H23. 4月	10,999	2,177	249,612	5,800	3,477	0
5月	9,503	1,523	218,216	0	1,581	0
6月	8,727	1,330	198,934	7,540	3,257	0
7月	9,724	1,605	250,083	5,768	1,796	0
8月	12,713	2,413	315,424	5,979	4,956	0
9月	1,377	0	112,045	0	0	0
10月	9,806	1,873	213,128	7,216	2,926	0
11月	10,595	2,837	281,305	12,717	2,877	0
12月	10,412	2,175	244,717	6,184	2,809	0
H24. 1月						0
H23年度計	83,856	15,933	2,083,464	51,204	23,679	0
払出量計	297,007	52,086	7,519,336	181,594	86,302	0

注1) 小点検のため運転を休止(平成23年2月19日～28日、平成23年6月20日～30日)

注2) 定期点検のため運転を停止(平成22年9月22日～10月22日、平成23年9月1日～9月30日)

注3) 碍子は、平成20年度まで有価物として払出

注4) 廃活性炭は、平成24年〇月から払出